

令和7年第9回大田市教育委員会定例会会議録

日 時：令和7年9月24日（水） 10時00分～10時25分

場 所：大田市役所 4階 大講堂

出席委員：教育長 武田祐子

委 員 梶 伸光、仲野義文、岩谷律子、景山浩充、宮里陽子

欠席委員：なし

傍 聴 者：なし

事務局出席者：

縄教育部長 大門総務課長 土江学校教育課長

伊藤学事・魅力化推進室長 岩谷社会教育課長 中尾石見银山課長

桑野山村留学センター長 山本学校給食センター長

刈橋総務課長補佐（会議録作成者）

1. 開 会 （司会・進行 縄 部長）

縄 部長 令和7年第9回大田市教育委員会定例会を開催いたします。

2. 会議録の承認について

縄 部長 令和7年第8回定例会会議録について、訂正等ございませんでしょうか。

委 員 （はい）

3. 教育長報告

縄 部長 教育長報告に移ります。教育長お願いします。

教 育 長 （資料にて説明）

令和7年9月教育長報告						
月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
議会開会		政策企画会議(答弁協議)	本会議:一般質問	本会議:一般質問		
		中学校弁論大会(岩谷委員)				
		ピラ大田MTG				
8	9	10	11	12	13	14
本会議:総括質疑	総務教育委員会	来客:島根県教育監 他		大田市科学作品展(三瓶青少年交流の家)		
社会教育課協議	来客:浜田教育事務所長	商工会議所創立70周年 記念式典(あすてらす)		来客:小学校校長会 (連合運動会協議)		大田市ミニ縁日 (主催:大田青年会議所)
来客:静間小、鳥井小校長		大田高等学校訪問				S.O練習会(大田小学校)
15	16	17	18	19	20	21
敬老の日	決算審査特別委員会	県教委協議	拡大生徒会資料作成	拡大生徒会資料作成		山陰自動車道建設促進 島根県民総決起大会2025 (大田市民会館)
		東京大学 福本先生 オンラインMTG	島根県立大学打ち合わせ			
		市長協議				
22	23	24	25	26	27	28
	秋分の日	定例教育委員会 (市役所4階大講堂)	議会最終日	拡大生徒会協議		
	大田市写真展「大田市の魅力」		全員協議会			
			県5教育事務所長会視察 (北三瓶小中学校、山留セン ター、さんべ荘)			
29	30					
人権研修(オンライン)	政策企画会議					
	三役ランチミーティング(市長室)					
	久手小・朝波小統合準備協議会					

縄 部長 以上、教育長報告でした。
ご質問等ありませんでしょうか。
委 員 (はい)

4. 議 事

縄 部長 議第32号「令和6年度教育委員会の事務に関する点検・評価について」
総務課長、お願いします。
大門課長 (資料により説明)
縄 部長 意見等ございませんか。
委 員 (はい)

縄 部長 議第33号「大田市不登校対策検討委員会委員の委嘱及び任命について」
学校教育課長、お願いします。
土江課長 (資料により説明)
縄 部長 意見等ございませんか。
委 員 (はい)

4. 報 告

縄 部長 続いて報告事項に移ります。
「9月大田市議会定例会における一般質問について」
(資料により説明)
質問等ございませんか。
仲野委員 コロナ禍を背景に、不登校者は全国的に増加傾向にあると思いますが、その主たる理由は何でしょうか。
土江課長 コロナ禍によって学校でのコミュニケーションを遮断しなければならない時期もありました。インターネット、SNSの世界に閉じこもってしまう子どもたちはここ数年で増加しています。不登校者の増加には、こういった事情が影響していると感じています。不登校者は全国的に増加している状況にありますので、大田市に限定した特別の要因によるものではないと考えています。
仲野委員 学校に行けない子どもたちが家庭でどのような生活を送っているのかということについては、把握をしておられるのでしょうか。
土江課長 不登校者のうち、繋がりをまったく持つことができていない子ども

もはいないものと承知しております。一部の児童・生徒は学校に行けず、あすなろ学級などにも行くことができない状態にあります。関係機関が繋がり状況確認を行っています。オンラインで繋がることができるような仕組みづくりも進めていきたいと思っています。

仲野委員 ネットなどを利用して、不登校の子ども同士で悩みを共有できるような環境があれば変化が出てくるのではないかと思います。

武田教育長 近年では、社会全体の流れとして必ずしも無理をして学校に行かなくても良いという考え方があり、朝起きて学校に行くということが当然のことではなくなってきたということも背景にあります。

岩谷委員 どこにも繋がっていない子どもたちはいないということを聞き、とても安心しています。繋がりを持つことができれば、どうしても長期化してしまうと思いますが、学校や教育委員会（事務局）の努力を感じます。全国的には、NPO法人などによる子どもの居場所づくりの動きもありますが、大田市にはそのような動きはあるのでしょうか。

縄 部長 子どもの居場所づくりに取り組んでいるところはありますが、例えばフリースクールを作ろうというような動きはみられません。

岩谷委員 社会の流れとして、必ずしも学校に行かなくても良いという考え方が強くなってきています。子どもの数が少ないのでなかなか難しいかもしれませんが、そのような動きが出てくれば良いと感じています。

縄 部長 SNSの普及によって、学校に行きづらくなってしまった子どもたちがいる反面、そのことによってどこにも繋がっていない子どもたちや保護者の方々は少なくなっています。オンラインでどこでも学ぶことができるという環境にある子どもたちを、無理に学校に戻さなければならないのかということも考える必要があります。

仲野委員 学ぶためには学校に行かなければならないということが成り立たなくなってきましたので、学校に行くということについて、違う目的で再設計していかなければ、学校そのものの価値が失われてしまうことになるのではないかと思います。学習だけが目的であれば、自分でどこでもできるということになりますので、集団で学ぶことの意味をもう一度見直す必要があるのではないかと思います。

5. 閉 会

縄 部長 本日予定しておりました定例会としての議題、報告事項については以上でございます。

 なお、このたび、令和7年度の地方教育行政功労者として、仲野委員が表彰されることになりましたのでご紹介をさせていただきます。

 次回の定例会は、10月22日水曜日の午前中の開催として、改めて調整させていただきます。

 第9回の大田市教育委員会定例会を終了させていただきます。

以上の会議録は、第9回の会議録として承認した。

令和 7 年 10 月 22 日

教育長	武 田 祐 子
委 員	梶 伸 光
委 員	仲 野 義 文
委 員	若 谷 律 子
委 員	景 山 浩 充
委 員	宮 里 陽 子